

せんちょう

あこがれ千町

「あこがれ千町の会」ニュース No.9 2010年10月22日
連絡先 078・857・8267(よりあい向洋)

10月31日 六甲アイランド

収穫祭に出店

10月30、31日に開かれる六甲アイランドの恒例の収穫祭で、「あこがれ千町の会」は31日(日)に会の活動の紹介と千町の収穫物の販売コーナーを開設します。事前の千町での収穫作業(28日、30日)と、当日の売り子役にご協力ください。

六甲アイランドの収穫祭はことしで12回目を迎え、関西各地から農作物、酪農製品が持ち込まれ、数千人の人たちでにぎわいます。30日にはハロウィンフェスティバルが開かれ、お姫様やアニメのキャラクターに仮装した親子がパレードをします。千町で育った大きなカボチャもパレードに参加するかもしれません。

はっぴとのぼりを用意し、祭りを盛り上げます。お客さんの投票によるブースの人気コンテストも行われます。元気なコーナーにしましょう。

出展する品目は、カボチャ、サツマイモ、サトイモ、ダイコン、ニンジン、小松菜、ネギ、サラダ菜などなど。千町の隣の草木(くさぎ)集落からも特産のシイタケが持ち込まれる予定です。ほかに、宍粟市山崎町土万(ひじま)の特別栽培米、千種町岩野辺の自然卵なども販売する予定です。

名物「千町なべ」も登場!

千町の人たちも当日マイクロバスでやってきます。4月の発会式で大変人気のあった鴨肉入りの名物「千町なべ」を用意してまちの人たちに味わってもらいます。千町の人たちとまちの人との交流会も行う予定です。

11月3日「いちのみやふるさとまつり」(一宮町 スポニックパーク)にも参加し、野菜の販売、活動のようすの写真展示をします。

若一神社の秋祭り

千町の若一神社の秋祭りが14日、15日に行われ、「まち部会」の5人も参加しました。宵宮では伝説を秘めた「油万灯」が行われ、本宮では獅子舞が演じられました。

〈油万灯〉



昔、神社の裏山の大段山（966m）の頂上近くにある大沼に大蛇が住んでいて、年に一度村にやって来て娘をさらっていた。大蛇を封じるために、上千町と下千町の間にある小高い丘にたくさんの木を積んで一晩中燃やし続けたら、大蛇は山から下りてなくなった—というお話です。その後、火をたく場所は若一神社に移され、たきぎではなく、素焼きの皿に油を入れて灯心を燃やすようになりました。

大蛇が下りてくるとい話は、風水害や病虫害に襲われることを意味していたのでしょうか。

「油万灯」は、農作物が元気に育ち、大雨や大風の災害がなく、村の平和が保てるように、という祈りだと思えます。

夜の神社にたくさんの灯火が揺らいでいる情景は、神秘的で、幻想的で、豊穰と平安を願う気持ちがひしひし伝わってきました。

〈獅子舞〉 15日の本宮は、村の男衆が礼服・

銀色のネクタイで拝殿に参拝して行われました。下の三方町・御形神社の宮司と息子さんの権宮司が千町に上がって来て、厳かに長い祝詞をあげました。神前には白菜、カボチャなどがささげられ、自然の恵み感謝し、これからの豊作を願いました。

祭りに参加したのは、外に出ている親類たちも帰って来て総勢60人あまり。汗をふきふき演じられた獅子舞に拍手がわきました。スギ、ヒノキの古木や山の雲、川のせせらぎ、ご先祖たちに見守られている獅子舞は、味わいの深いものでした。

千町が属している三方地区旧繁盛（はんせ）村では、8つの集落で獅子舞が舞われていたが、毎年続けているのは千町だけになってしまった、ということです。



ホームページ開設 「あこがれ千町の会」のホームページが開設されました。「千町って?」「活動ダヨ」「お知らせ」などのコーナーがあります。訪れてください。

<http://sencho.hyogo-communitynetwork.com/index.html>